

研究指導の概要

■ 心理学学位プログラム

【課程：博士前期課程】

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	A <ul style="list-style-type: none"> 1. 研究体制の基礎固め ①新入生オリエンテーションに出席し、心理学学位プログラム（前期）の人材養成目的、3ポリシー、標準的学修過程、修了要件、学修成果の指標、修士論文の合格基準について理解する ②研究テーマ、副指導教員について指導教員と話し合い、学位プログラムに報告する ③入学時コンピテンス自己評価を実施し、指導教員と認識を共有する。 ④③を踏まえて、初年度の科目履修計画を立てる
		B <ul style="list-style-type: none"> 2. 研究活動の開始 ・指導教員と相談の上、卒業研究の学会発表・研究誌投稿を計画・実行する ・修士論文の研究テーマに関する文献収集とレビューの開始 3. 授業の受講 ①必修科目「心理学方法論Ⅰ」を履修し、下記について理解を深める ②研究倫理の理念と人間系における研究倫理審査手続き ③学会活動
		C <ul style="list-style-type: none"> ・心理学の多様な方法論 ・英語によるabstract writing skillの学習 ②学位プログラムの基礎科目、専門科目の履修により、汎用コンピテンスと専門コンピテンスの獲得を推進する
	秋	A <ul style="list-style-type: none"> 3. 修士論文第一次指導会へのオブザーバー参加 ・2年生の修士論文の構想発表会（5月）にオブザーバーとして参加し、プレゼンテーションと質疑応答から、研究の実際について学ぶ
		B <ul style="list-style-type: none"> 1. 修士論文の研究の遂行 指導教員とのゼミの下で、下記の事柄に取り組む ①修士論文の研究テーマについての文献収集とレビュー ②研究テーマの絞り込みと研究計画の立案 ③研究倫理審査申請書の作成 ④研究の遂行 2. 授業の受講 ①必修科目「心理学方法論Ⅱ」を履修し、心理学の多様な方法論を学ぶ ②学位プログラムの基礎科目、専門科目の履修により、汎用コンピテンスと専門コンピテンスの獲得を推進する
		C <ul style="list-style-type: none"> 3. 修士論文第2次指導会（10月）・最終口述試験（1月）にオブザーバーとして参加し、プレゼンテーションと質疑応答から、研究の実際について学ぶ

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
2 年 次	春	A	1. 2年時の研究体制の確立 ①在学学生オリエンテーションに出席し、心理学学位プログラム（前期）の人材養成目的、3ポリシー、標準的学修過程、修了要件、学修成果の指標、修士論文の合格基準について確認する ②指導教員と話し合い、副指導教員について確認する ③進級時コンピテンス自己確認を実確し、指導教員と認識を共有する。④③を踏まえて、2年次の科目履修計画を立てる
		B	2. 修士論文の研究の遂行 心理学特別研究Aを履修し、指導教員とともに下記の通り修士論文の研究を進める ①研究計画の立案 ②研究倫理申請書の作成 ③データ収集と分析 ④結果の考察
		C	3. 第一次指導会（5月）に参加し、プレゼンテーションと質疑応答を行う
	秋	A	1. 修士論文の研究の遂行 心理学特別研究Bを履修し、指導教員とともに修士論文の研究を進める
		B	2. 修士論文第2次指導会（10月）に参加し、プレゼンテーションと質疑応答を行う 3. 修士論文の提出（12月下旬） 修論提出時コンピテンス自己確認の実施、剽窃チェックを受けて提出
		C	4. 修士論文最終審査会（1月）